（別添資料１）

事業所名	児童発達支援事業所なーちゃ	支援プログラム	作成日	令和6年8月1日

法人（事業所）理念		すべての子どもたちが社会の一員として、充実した生活・成長が望める場所やサービスの提供を行います。		
支援方針		子どもたちの日常生活における基本的な動作の習得を支援します。 集団生活への適応力習得を支援します。 子どもたちの心身等の状況に応じて、日常生活に必要な機能向上を図るための訓練を実施します。 ご家族の思いに寄り添いながら、地域で安心して過ごせる場所作りに努めていきます。		
営業時間		９時３０分から　１６時００分	送迎実施の有無	(あり)　なし
		支　援　内　容		
		午前・一日クラス	午後クラス	
本人支援	健康・生活	定期的な通所を通して生活リズムを整え、食事・着替え・排泄など、 生活に必要なスキルを獲得し、身辺自立の向上を図ります。	生活に見通しを持ち、 準備・片付け、物の管理など、生活に必要なスキルを身につけていきます。	
	運動・感覚	さまざまな動きやあそびを通して身体の動かし方を知り、 姿勢の保持や生活動作の向上を図っていきます。 また行動の調整が行えるようボディーイメージを高めていきます。	就学を見据えて、体幹・体力を鍛えていきます。 手先道具の操作が行えるよう	
	認知・行動	あそびのなかで五感を働かせ、いろいろな感触や素材に触れる機会を設け、 「楽しい」「面白い」と思えるような発見や気づきが持てるよう関わります。 あそびを通して物の名前、用途、色、数、大小など興味を育て、理解を深めていきます。	いろいろな素材や道具などを知り、活用方法を学んでいきます。 あそびを通して文字や数字などへの興味を育て、理解を深めていきます。	
	言語 コミュニケーション	あそびのなかで発声や言葉を増やし、 自分の気持ちを表現したり相手に伝えたりできるよう、経験を重ねていきます。	さまざまな体験を通して、言葉で気持ちを伝え合いやりとりを深めていきます。	
	人間関係 社会性	安心できる環境のなかで、相手を信頼したり役割を果たしたりしながら、 決まりやルールに触れていけるように支援します。	小集団を通して、相手の気持ちに気づき、 自分の気持ち折り合いをつけられた経験を重ね、 ソーシャルスキルを高めていけるよう支援します。	
家族支援		個々の個性と発達に合わせた関わりを提案します。 相談しやすい環境作りを行い、ご家族の思いに寄り添います。	移行支援	関係機関と情報共有を深め、 子どもが地域で安心して生活できるよう連携を図っていきます。
地域支援・地域連携		ご家族を含め、地域の皆さまと交流し、 発達支援を必要とする子どもたちへの理解を深めていきます。	職員の質の向上	定期的な研修や、専門職との連携を行い、 知識と技術の向上を図ります。
主な行事等		運動会ごっこ　　発表会ごっこ　　巣立ちの会		